

講演会

「南アルプスユネスコエコパーク登録10周年と早川の自然～第二弾～」

南アルプスは3,000m級の山々からなり、この山地の形成には糸魚川 - 静岡構造線と呼ばれる日本列島を東・西に二分する大きな断層が関係しています。この大断層沿いにそびえる七面山の大ガレ（大崩落地）から春木川下流部には土砂の流出が活発で、この対策として設けられた栃原堰堤は早川流域における最古の堰堤として、登録文化財に指定されています。

近年、全国各地でこのような貴重な防災に関する文化財を活用した地域活性化の取り組みが始まりつつあります。今回は、栃原砂防堰堤と関わりのある県内の登録文化財と、全国の防災啓発から地域活性化にわたる話題を提供します。



栃原堰堤

◎日 時 **令和6年8月31日（土曜日）** 午前10時～午前11時30分

（受付は午前9時30分から）

◎会 場 早川町役場 2階会議室 （住所：早川町高住 7 5 8）

◎参加費 無料

◎ 演 題

「早川の砂防～県内の登録文化財とこれからの話～」

・・・（国土交通省 富士川砂防事務所長 藤 平 大）

問い合わせ先：日本上流文化圏研究所（電話：0556-45-2160 <http://www.joeyuken.net/>）

主催：日本上流文化圏研究所

糸魚川 - 静岡構造線資源活用プロジェクトin早川